救急車を上手に使いましょう

~ 救急車 必要なのはどんなとき?~



〈 発行のねらい 〉

近年、救急車の出動件数・搬送人員数はともに増えており、 救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。 また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

そこで、この度、皆様に上手に救急車を利用していただくため、 「救急車を上手に使いましょう 〜救急車 必要なのはどんなとき?〜」を作成しました。 この中には、

救急車を呼んだら用意しておくべきものなど「救急通報のポイント」、 重大な病気やけがの可能性がある「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」、 実際に救急車を呼ぶ場合の「救急車の呼び方」などを載せていますので、 救急車を呼ぶべきかどうか判断に困った場合などに、 活用していただければと思います。

救急車や救急医療は限りある資源です。みんなで上手に利用し、 救急医療を安心して利用することのできる社会を目指していきたいと思います。





救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「119番」です。

救える命を救うためには、応急手当が重要です。 応急手当が必要な場合は、消防本部から電話で指示されます。

AEDを誰かに 持ってきて もらってください

平均7.

9分 / 平成21年



救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。 いざというときに、大切な方を救うためにも、

正しい応急手当を身につけておきましょう。



お近くの消防署では応急手当の講習を行っています。 消防署の電話番号は、市役所等のホームページなどで 調べることができます。

応急手当をしている人以外にも 人手がある場合は、

救急車の来そうなところまで案内に出ると 到着が早くなります。



母子健康

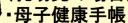
救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくと便利です。

- ・保険証や診察券
- •お金
- 靴.
- ・普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)



0Q

(乳幼児の場合)





は乳瓶

タオル

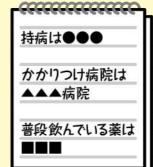
おくすり



救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報

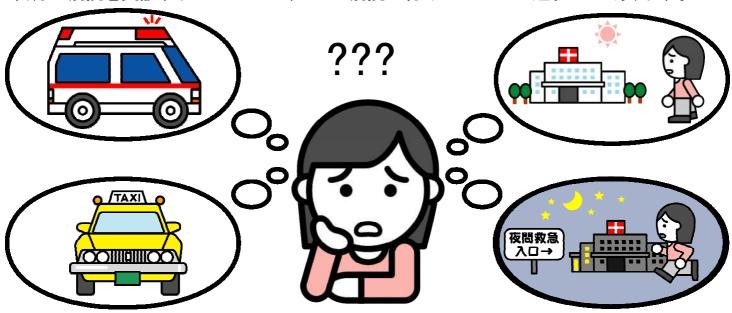
(持病、かかりつけの病院やクリニック、 普段飲んでいる薬、医師の指示等)



* 持病、かかりつけの病院 やクリニックなどは、 日頃からメモにまとめて おくとおくと便利です。

判断に迷ったときは、お近くの救急相談窓口に

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのか迷うことがあります。



そのような時にはおはません。お住まいの都道府県や市町村に救急相談窓口がありますのでご相談ください。

例えば、次のような電話相談窓口があります。(平成23年3月現在)
#8000 小児救急医療電話相談事業
※各都道府県に窓口があります。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状 : 大 人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください! 重大な病気やけがの可能性があります。

顔

- ●顔半分が 動きにくい、 あるいは しびれる
- ●ニッコリ 笑うと口や 顔の片方がゆがむ
- ●ろれつがまわりにくい、 うまく話せない
- ●視野がかける
- ●ものが突然二重に見える
- ●顔色が明らかに悪い



- ●突然の激しい頭痛
- ●突然の高熱
- ●支えなしで立てない ぐらい急にふらつく

胸や背中

- ●突然の激痛
- ●急な息切れ、呼吸困難
- ●胸の中央が締め付けら れるような、または圧迫 されるような痛みが 2~3分続く
- ●痛む場所が移動する

手足

- ●突然のしびれ
- ●突然、片方の腕や足に 力が入らなくなる

腹

- ●突然の激しい腹痛
- ●持続する激しい腹痛
- ▶吐血や下血がある

意識の障害

●意識がない(返事がない)又は おかしい(もうろうとしている)

●ぐったりしている

叶き気

飲み込み

呼吸が苦しい

意識がない

冷や汗を伴うような強い吐き気

●食べ物をのどにつまらせて、

●変なものを飲み込んで、

けいれん

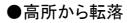
- ●けいれんが止まらない
- ●けいれんが止まっても、 意識がもどらない

- けが•やけど
- ●広範囲のやけど



- ●交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- ●水におぼれている

事故





◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合